

日吉台新聞

HIYOSHIDAI

発行

日吉台学区
まちづくりセンター

発行責任者
林 堅太郎

編集責任者
野々口 義信

日吉台学区
個人情報保護方針
取り扱い文書

園舎建設工事着工へ

来年4月開園めざし全力投入

日吉台幼稚園跡地に計画されている「日吉台至明こども園」建設工事の入札が8月19日行われ、大津市下阪本の建設業者が落札した。7月の1回目の入札で落札業者が決まらず、工事着工の遅れで来春の開園が危ぶまれたが、今回の再入札の結果、業者が決定したことで計画は前進、工事説明会を経て直ちに園舎建設工事に着工、当初予定どおり来年4月の開園へ全力を挙げるようになった。

工事スケジュール、1カ月遅れ

日吉台幼稚園跡地に開設予定の認定こども園は、幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設。昨年度の大津市の事業者選定公募で、大津市坂本8丁目専称寺保育園を運営する社会福祉法人「一向山福祉会」（西川義光理事長）に運営事業者が決定している。



日吉台至明こども園が建設される日吉台幼稚園園舎跡地

建設される園舎は、2階建て延べ606平方メートルという。定員は、幼稚園機能の1号認定15人、保育機能の2・3号認定60人の計75人。園名について、大津市坂本に坂本小が創立される前の明

日吉台至明こども園

1回目の工事業業者を決める入札は7月13日に実施。この時は、7社が応募したが不調に終わり、8月19日、5社が参加した再入札で工事業業者が決まったという。

工事計画によると、8月31日に市民センターで地元説明会を開催。9月1日、直ちに工事着工、来年3月15日工事完了を目指す。再入札となったことで1カ月程度スケジュールが遅れている。



日吉台至明こども園園舎のイメージ図

空きガレージを募集中

学区空き家対策委員会

学区空き家対策委員会は、学区内の違法駐車などを防止するため、空いたり使っていない軒先ガレージの貸主を募集している。学区内では、マイカーを複数所有する世帯が増加しているが、学区の住宅地では1台しか駐車できない車庫が多い。常ひごろから複数のマイカーを所有する住民から学区空き家対策委に学区内での空きガレージを捜してほしいとの声が寄せられ、空き家対策委が、活動の

高齢者にタクシー利用券交付

大津市・新型コロナウイルス対策で

新型コロナウイルス対策として、大津市は高齢者や障がい者、妊婦らを対象に、妊婦らを対象に臨時タクシー利用券の交付を決め、対象者らに郵送などで通知した。臨時タクシー利用券は、

高齢者や障がい者、妊婦ら外出時の新型コロナウイルス感染リスクを低減するため交付する。対象者は、①令和3年3月31日までに75歳以上となる人②身体障害者手帳1級または2

級を所持、療育手帳A1またはA2、精神障害者保健福祉手帳1級を持つ人③妊娠中の人④小児慢性特定疾病医療受給者証を持つ人⑤特定医療費（指定難病）受給者証を

持つ人のいずれかで大津市に住民登録が必要。交付されるタクシー利用券は1枚500円券6枚。利用期限は、令和3年3月31日まで。タクシー料金支払いのさい利用券を提出、そのさい本人確認のため保険証や免許証などの提示が必要。交付対象者には、大津市から郵送等で通知が送られ、交付手続きの申

空き巣被害多発注意

日吉台で最近、住宅玄関ガラスを割り、ドアをこじ開け、空き家住宅などを狙った侵入被害が多発している。

8月6日朝、1丁目南の空き家住宅玄関ガラスが割られたうえ、ドアノブが壊されているのを付近の人が発見した。110番通報で警察が調べたところ、空き家内部が荒らされ盗難被害があったという。複数の土足痕があり、複数犯による犯行とみられる。1丁目南自治会では、丁内に回覧を回し警戒をよびかけている。

学区内で空き家が狙われ被害が出ていることを重視した学区空き家対策委員会は、各丁の空き家対策委員に対し、見守り対象住宅に異常がないかの確認をするよう依頼、住民に対しても十分注意するよう呼び掛けている。

困ります!そのオシッコ!!
マナーを守りましょう!



犬のトイレは適切な場所で!

※ 犬の散歩の際は、フン尿の始末ができる用意 (ビニール袋、水入りペットボトル) をしましょう。

大津市動物愛護センター

子どもたちが感謝のメッセージ



ボランティアのおじさんたちに感謝のメッセージを書く日吉台小学校1年生の子どもたち

新型コロナウイルス感染症から日吉台小の子どもたちを守る日吉台小学校支援ボランティアで、1学期の終業式が行われた7月31日、1年生22人がクラスのホワイトボードに、学校支援ボランティアの人たちに感謝のメッセージを書き込んだ。

「あついなか しょうとくありがとう」

コロナ防止ボランティアにお礼

日吉台小
1年生

新型コロナウイルス禍の影響による臨時休校で、夏休みが大幅に短縮され、酷暑のなかでの教育活動が多くなり、子どもたちの体力低下、教職員の負担増が懸念されている。このため市教委は、市内小、中学校で熱中症対策やコロナ感染防止を目的にボランティアを募集、学校消毒を行うことにした。日吉台小では、7月2日から7月31日まで、同小学校運営協議会(コミュニティスクール)委員有志6人が学校支援ボランティアに名乗りを挙げ、



教室の机などを消毒する学校支援ボランティアのメンバー

放課後交代で、消毒液の次亜塩素酸水を手に校内を巡回、1時間がかりで各教室の机やイスなどを丁寧にふき取り消毒、汗を流した。子どもたちの感謝のメッセージが書かれたのは、コロナ禍で、いつもより遅れて行われた1学期の終業式の日の午後。ボランティアメンバーが作業に出かけた1年生の教室

で見つけた。1年生担任の伊藤泉教諭によると、子どもたちは、ボランティアのおじさんたちが、机やイス、教室の消毒作業をしているのを知っており、終業式のあとみんな話し合い感謝のメッセージを贈ることになり、20分がかりで書き上げたという。メッセージはホワイトボードいっぱい使って「いつも消さなく作業あ

老ク連が清掃奉仕

炎天下・市民センター周辺

日吉台学区老人クラブ連合会の清掃奉仕活動が、梅雨明け直後の8月4日、日吉台市民センター周辺で行われた。この奉仕活

動は、学区老人クラブ連合会の年間活動計画のひとつとして実施している事業。炎天下、老ク連加入の単位老人会から約15人が参加、市民センター

周辺街路の除草や清掃も中止され、市民センター

周辺街路は、雑草の生育勢いは例年以上。同クラブは、新型コロナ対策としてマスクの着用、密集を避けて作業を行うよう各会員に注意を呼び掛け作業を実施。1時間足らずの奉仕作業だったが、市民センター周辺街路は、勢いよく生えていた雑草や植え込みなどのゴミも無くなり、見違えるようきれいになった。



市民センター周辺で清掃奉仕をする老ク連会員ら

玄関灯・門灯 点灯にご協力ください!

- ・ 帰宅時も明るくて安心
- ・ 泥棒に狙われにくい街づくり



電気代は、LED電球(40W電球相当)の場合1か月60円程度、20W蛍光灯の場合1か月140円程度です。

「ありがとう」「あついなか しょうとく」など書かれ、みつけたボランティアを喜ばせた。

学校支援ボランティアによる消毒作業は、今年度の2学期が始まる8月24日再開した。